

眼形成・眼窩・涙道外科

1 教育目標

(1) 一般目標

臨床の実際を外来診察，病棟実習を通じて理解する。眼形成疾患の専門知識・診察法・治療技術を修得させる。

(2) 行動目標

1. 眼球付属器の解剖について説明できる。
2. 直接・間接対光反射について理解し，検査ができる。
3. 眼球運動について理解し，検査ができる。
4. 指導医の監督下で病歴をとることができる。
5. 症例について指導医とディスカッションができる。
6. 病棟入院患者を担当し，主治医と共に診察し，診断・治療方針についてディスカッションができる。
7. 担当患者の手術時には，指導医の監督下に手術介助を行い，術後診察をできる。
8. 担当症例について関連した文献を自ら調査し，疾患の理解を深める。

態度

【クリニカル・クラークシップB】

1. 患者および診療スタッフと良好なコミュニケーションをとることができる。

知識

【クリニカル・クラークシップB】

1. 視力，眼圧，眼球運動などの視機能検査の臨床的意義が理解できる。
2. 眼球付属器に関する検査所見から眼形成疾患の診断ができる。
3. 眼形成疾患の診断後，適切な治療法を選択することができる。
4. 教科書や論文を読み，疾患の概要を説明できる。
5. 論文を読み，疾患の最新の知見を調べることができる。
6. 症例検討会でプレゼンテーションすることができる。

技能

【クリニカル・クラークシップB】

1. 指導医に従って行動する。
2. 担当患者の診察・手術に参加する。
3. 指導医と共に担当患者の術後経過を観察し，討論・レポート作成する。
4. 基本的な診察ができる。
5. 眼形成手術の助手ができる。
6. 指導医と共に担当患者の術後経過を観察し，討論・レポート作成する。

2 実習要領

【クリニカル・クラークシップB】

1. 疾患を理解し，習熟することは重要であるが，患者の心に寄り添う気持ちを常に念頭におくこと。
「クリニカル・クラークシップの手引き」冒頭部分を熟読し，服装，態度，言葉使いに十分に気をつけること。
2. 教科書に目を通してくること。

3 実習の評価方法

レポート（義務）と出席，学習態度より総合的に評価する。

4 クリニカル・クラークシップ指導連絡員

職 名	教 員 名
教 授	高橋 靖弘
准 教 授	宮崎 英隆
助 教	伊藤 麻耶里 篠原 大輔

5 連絡先

場 所（内線）	眼形成・眼窩・涙道外科医局（12314）
E - m a i l	sec2635@mail.aichi-med-u.ac.jp

6 クリニカル・クラークシップB 週間予定表

【初日の集合時間／場所】

10:00／眼形成外来

【祝日の場合】※火曜日

10:00／眼形成外来

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	10:00 集合 オリエンテーション／外来見学 眼球・周囲組織の解剖 所見の取り方 検査機械の使用方法	高橋	眼形成外来	13:30 集合 外来見学 眼球・周囲組織の解剖 所見の取り方 検査機械の使用方法	高橋	眼形成外来
火	9:00 集合 外来見学	高橋	眼形成外来	13:30 集合 研究の見学	高橋	眼形成医局
水	9:00 集合 手術見学 担当患者手術介助	高橋	手術室	13:30 集合 手術見学 担当患者手術介助	高橋	手術室
木	9:00 集合 外来見学	高橋	眼形成外来	13:30 集合 手術見学／病棟回診	高橋	手術室/ 8B 病棟
金	9:00 集合 手術見学 担当患者手術介助	高橋	手術室	13:30 集合 手術見学 ／レポート作成・提出	高橋	手術室/ 眼形成医局